

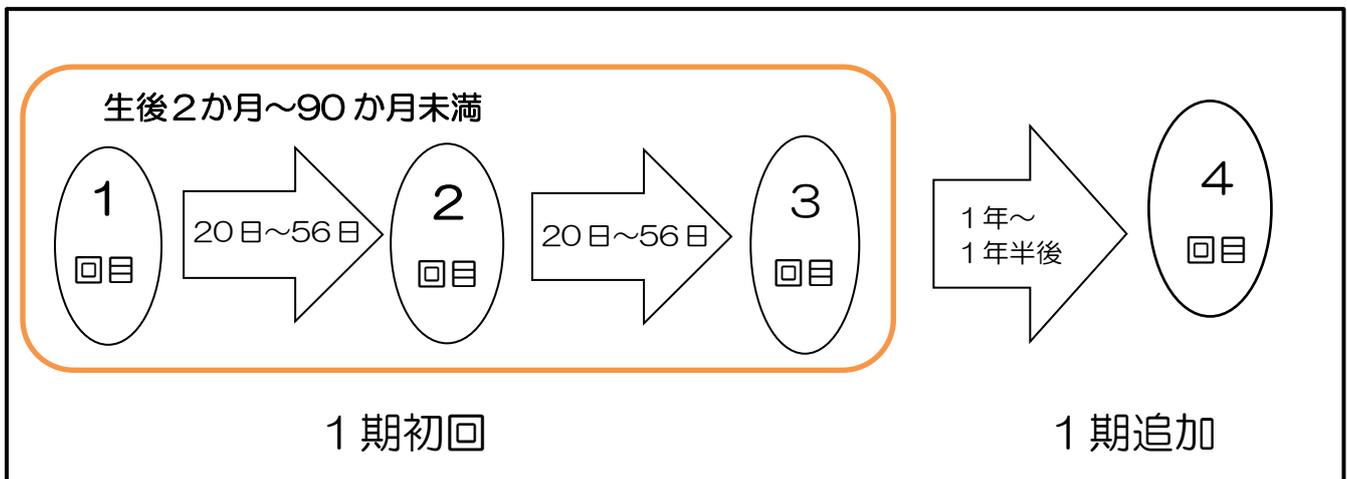
# 五種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ・ヒブ）

## 【生後2か月～90か月未満まで】

- ジフテリアは、かかると重い病気で呼吸困難をおこし、死亡に至る場合もあります。また、神経麻痺や心臓麻痺を起こすこともあります。
- 百日咳は、かかると普通の風邪のような症状で始まり、続いて咳がひどくなり、小児の典型例では顔を真っ赤にして連続性に咳込むようになります。肺炎や脳症などの重い合併症をおこし、乳児では命を落とすこともあります。
- 破傷風は、けがをした時に傷口から破傷風菌が入って起こる病気です。菌が入ると神経麻痺、筋肉の激しいけいれんや呼吸困難などを引き起こします。かかると死亡率も高い病気です。
- ポリオは、ウイルスによって四肢に麻痺を起こす病気です。
- インフルエンザ菌b型（H i b）は、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎などの気道感染症のほか、細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症を引き起こす細菌です。H i bによる細菌性髄膜炎のほとんどは5歳未満で発症し、生後4か月から1歳未満の乳児が過半数を占めています。

### 【標準的な接種対象年齢】

- ★ 第1期は、生後2か月から生後90か月未満
- ★ 1期の追加接種は、初回3回接種終了後1年から1年半後の間に接種することになっています。忘れずに接種してください。



### 【接種後の注意】

- ① 通常高熱は出ませんが、接種後しばらくして37.5度以上の発熱がみられることが、ごくまれにあります。
- ② 発赤、腫れ、しこりがみられることがあります。しこりは少しずつ小さくなりますが、数か月残ることがあります。

問合せ

富里市健康福祉部健康推進課（すこやかセンター内）

電話 93-4121（直通）